

平成25年度学校評議員活動概要

活動時期	活動概要(意見聴取の概要、参加評議員数、対応方針等)
H25.7.6	<p>8名の出席(評議員 5 名、学校 3 名)</p> <p>概要説明</p> <p>ア、修学旅行を国内(沖縄)に変更した。</p> <p>イ、部活動では文武両道で頑張っている。特に昨年度は囲碁、将棋を部にした。</p> <p>ウ、進学面では医学科が出なかった事と久しぶりに就職する生徒がでた。</p> <p>エ、今年度新入生が減った。また例年になく中学 3 年が他の高校に抜けた。理由は部活関係がほとんどであった。</p> <p>オ、図書館のハード面はだいぶ充実した。ソフト面で今年度司書を採用したが、早速効果が表れ図書館を訪れる生徒の数が増えた。</p> <p>カ、学校行事の大きな変更点として、体育祭を 1 ヶ月後ろに持ってきたことと、保護者の要望もあり、中断していた「中海ナイトウォーク」を再開することにした。</p> <p>キ、今年度の学校の努力目標は「一人ひとりを大切に」とした。教職員全員が基本に立ち戻り、一人ひとりの生徒を大切に育てることに全力を注ぎたい。</p> <p>ク、生徒が教員を評価するという、今までできなかった事を実施する。教員も緊張感を持って授業に向かうことになる。開校時の原点に立ち戻り、進学を前面に打ち出し、軸足のぶれない学校運営をしたい。</p> <p>学校評議員より意見</p> <p>ア、北斗の将来像が明確となった。進学に重点を置くのは良い方向性である。</p> <p>イ、北斗は曲がり角にきていることは間違いない。部活動偏重の風潮があるならどこで方向性を誤ったか検証が必要ではないか。</p> <p>ウ、最近ではほとんどの生徒が学習塾へ通うと聞くと、塾に行かなければならないという現状が学校への不信感となっているのではないか。</p> <p>エ、勉強、部活動、行事などメリハリが大切だと思うが、活気が感じられない。</p> <p>オ、今年度の努力目標は評価するし、生徒募集に関し学校側の方針も評価するが、勉強は苦手だがスポーツは得意で北斗を希望する生徒がいることも事実としてあることを忘れてならないと思う。</p> <p>カ、教員側も学校を変えよとの決意を強くもってほしい。</p> <p>キ、修学旅行を海外から国内に切り替えた事について、学校はリスク回避を考えすぎていないか。多少のリスクは保護者に理解してもらう事も大事である。</p> <p style="padding-left: 2em;">日本は国境の見えない国であり、その国境問題で対立する国があるという事実知ることには大切なことである。</p> <p>ク、公立小と公立中の一貫教育について、私学としてはどんな認識を持っているか。また、その影響についてどう思うか。</p> <p>ケ、公立中では中学 1 生の不登校が多いと聞く。小学校とのギャップに適応が出来ず不登校になるのではないか。小中の連携もそのこともあるのではと思う。</p> <p>コ、いずれにしても、少子化の中で生徒の確保は今まで以上に大変になると思うし、北斗の特色をもっとアピールしないとイケない。</p>

概要説明

- ア、今年度の生徒募集状況では、50名の入学予定者となった。今年は推薦入試の受験生は減ったが、そのぶん一般受験生が増えた。来年度は入試制度自体を少し見直したいと考えている。
- イ、高校3生の進路については、6年間部活動に打ち込んだ生徒が国立大学の医学部・医学科に合格するなど、いよいよ文武両道の学校になってきた。また、現役、浪人とも頑張っており、国立の医学部・医学科をはじめかなりの有名私立大学に合格している。
- ウ、部活動では体育系でバレーボール部や剣道部、テニス部やゴルフ部で全国大会に出場するなど結果を残した。文化系では音楽部や囲碁部はかなりの結果を残した。
- エ、公立小中の連携が進み、これまで以上に生徒募集は厳しくなることが予想される。
- オ、文科省の主管するSGH(スーパーグローバルハイスクール)に本校も申請した。
北斗の英語力の強化を図るのに良い機会ととらえ、研修旅行先も国内から英語圏へ変更する。環境問題をテーマに掲げ企業、大学との提携先もお願いしており、国の選考結果を待っているところである。
- カ、来年度から英語と数学の完全習熟度別授業を実施する。

学校評議員より意見

- ア、小中連携の話が出たが、他の市町村でも同様の動きがあるか。
- イ、小中連携は小学校から中学校へのギャップをなくし、いじめ、不登校問題への対応策と聞く。連携事業の本質をもっと知ることが大事ではないか。
- ウ、優秀な小学生を集めて学力を高めるだけではなく、北斗の教育力をもっと強化しなければならないのではないか。
- エ、北斗の方向性は良いと思うが、教師のスキルアップはどのように考えるか。
- オ、公開授業の実施状況はどうか。外部の人、たとえば専門家や、塾の先生であったりしても良いのではないか。このことで教師がより緊張感を持って授業が出来るし、マンネリ化を防止につながるのではないか。また、大事なものはこれをシステム化して実施し、生徒も緊張感を保ち授業に臨めるのではないか。
- カ、北斗はいわゆる名物先生はいるか。
- キ、英検、漢検などの合格者氏名を掲示することに問題はあるか。生徒も励みになると思うが、もっと積極的にPRを行ったほうが良いのではないか。
- ク、北斗の売りというか、特徴になるものを作り、それをもっと発信し、同時に教員がスキルアップしないとなかなか厳しいのではないか。
- ケ、最近の大学合格先をみると、文系より理系が強く感じるがどうか。